

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（ほくさつ） 北薩森林計画区 （鹿児島県）	事業実施主体	九州森林管理局 北薩森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業実施地区は北薩森林計画区の出水市、阿久根市、薩摩川内市、伊佐市及びさつま町に位置する32,055haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区は、鹿児島県北西部に位置し、森林の現況は人工林74%、天然林26%となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹ではカシ類・シイ類となっている。</p> <p>国有林全体の84%が水源かん養保安林に指定され、ダムが集水域にあっては、水源かん養機能の発揮が期待されるほか、紫尾山、十曾等は残存する天然林地帯を中心に保健休養の場として広く国民に利用されている。</p> <p>このため、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源のかん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全及び森林のふれあい等、森林の持つ多面的な機能の発揮に対する地域の要請は高い。</p> <p>当事業ではこれら、地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。</p> <table style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 40%;">410 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>11,074 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>6.6 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>18.0 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td>3,212,598 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	410 ha			保育面積	11,074 ha		路網整備	開設延長	6.6 km			改良延長	18.0 km	総事業費			3,212,598 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	410 ha																				
		保育面積	11,074 ha																				
	路網整備	開設延長	6.6 km																				
		改良延長	18.0 km																				
総事業費			3,212,598 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	33,032,368 千円																					
	総 費 用（C）	3,728,545 千円																					
	分析結果（B / C）	8.86																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 九州森林管理局

事業実施地区名: 北薩森林計画区(鹿児島県)

北薩森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	10,377,800	
	流域貯水便益	3,265,311	
	水質浄化便益	4,605,643	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,887,637	
環境保全便益	炭素固定便益	2,062,196	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	6,509,076	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	163,164	
	森林管理等経費縮減便益	9,039	
	森林整備促進便益	115,572	
維持管理費縮減便益		36,930	
総便益(B)		33,032,368	
総費用(C)		3,728,545	
費用便益比		8.86	